

2015年度「学生による授業評価アンケート」総括

2016年5月  
授業向上委員会

2015度も昨年度に引き続き、前後期各2回（中間時、期末時）、計4回の「学生による授業評価アンケート」（以下、アンケート）を実施した。このアンケートの目的は、各教員がアンケート結果を踏まえ、当該科目の授業改善に取り組み、またこのことを通じて本学における授業内容の向上を図ることにある。以下は、2015年度のアンケートの実施状況ならびにアンケート結果の特徴や問題点の総括である。ただし、後期期末時のアンケートは、機材が故障したため評価点の集計を行っていない。

(1) 実施状況

このアンケートは専任教員全員が前期、後期の中間時と期末時（計4回）に担当科目のうち1科目以上の科目で実施することになっている（非常勤は希望者のみ）。表1および表2はその実施状況をまとめたものである。

全体のアンケート実施率（4回）の平均は82.91%であった。まずまずの数字だといえるであろうが、満足できるものでもない。昨年度よりも向上しているが、2013年度のアンケート実施率の平均は今年度と同じ82.91%であるから、この水準に復帰したにすぎない。現状に満足することなく、実施率の向上を目指す必要がある。そのための対策の一つは、毎年新たに採用された教員に対しアンケートの意義を周知させることではないだろうか。1年間の実施率の推移はこの対策の必要性を示唆しているように見える。

表1 2015年度前期 学部・学科別アンケート実施率

	教員数(A)	実施教員数(B)		実施率(B/A*100%)	
		中間	期末	中間	期末
人間科学部	39	32	30	82.05	76.92
スポーツ健康	16	12	10	75.00	62.50
国際交流	11	8	9	72.73	81.82
心理臨床・子ども	12	12	11	100.00	91.67
医療学部	19	14	16	73.68	84.21
医療工	11	7	8	63.64	72.73
健康栄養	8	7	8	87.50	100.00
芸術学部	9	6	8	66.67	88.89
アート・デザイン	5	2	4	40.00	80.00
トータルビューティ	4	4	4	100.00	100.00
非常勤		7	9		
全体(専任教員)	67	52	54	77.61	80.60

実施率の推移を見ると、77.61%（前期中間）、80.60%（前期期末）、85.94%（後期中間）、

87.50%（後期期末）となっており、最初のアンケートから徐々に上昇する傾向が見られるが、これは今年度の新規採用教員にアンケートの意義、方法等が周知されていないことが原因の一つなのかもしれない。

**表2 2015年度後期 学部・学科別アンケート実施率**

	教員数(A)	実施教員数(B)		実施率(B/A*100,%)	
		中間	期末	中間	期末
人間科学部	37	33	33	89.19	89.19
スポーツ健康	15	13	14	86.67	93.33
国際交流	11	9	8	81.82	72.73
心理臨床・子ども	11	11	11	100.00	100.00
医療学部	18	16	16	88.89	88.89
医療工	10	8	8	80.00	80.00
健康栄養	8	8	8	100.00	100.00
芸術学部	9	6	7	66.67	77.78
アート・デザイン	5	2	3	40.00	60.00
トータルビューティ	4	4	4	100.00	100.00
非常勤		7	6		
全体(専任教員)	64	55	56	85.94	87.50

また、実施率を学科別に見ると、最も高い100%から最低の40%まで、かなりのばらつきが見られる。全体の実施率の改善を図るには、すべての学科で実施率の向上を図るだけでなく、低い実施率の学科で実施率を向上させることが不可欠である。今後の実施率向上への各学科および各教員の取り組みに期待したい。個々の教員がアンケートを実施するか否かは、各教員の授業改善への関心の強さ、アンケートの目的の理解度などに依存すると考えられるので、各教員は、授業改善に関心をもつとともに、アンケートの意義を十分理解して、アンケートに取り組んでほしい。

(2) 開講学科別の実施科目数と評価点をまとめたものが、表3および表4である。これらの表の実施科目数は、その科目が対象とする学科を基準に各学科に振り分けたものである。また、教員によっては複数の科目でアンケートを実施する場合がある。これらの理由により、表1および表2の実施教員数と表3および表4の実施科目数は一致しない。

評価点は、13項目の評価項目から11項目を対象とし、100点満点で総合点を計算したものである。表3と表4を見ると、全体の評価点は、74.58（前期中間）、74.09（前期期末）、73.97（後期中間）となっている。これらの評価点は昨年度とあまり変化がない。70点台前半の評価点の水準は全体として大きな問題がないレベルだと言ってよいが、さらに向上の余地があることをも意味している。

学部・学科別に見ると、共通科目の評価点が低いことが注目される（3回のアンケートですべて最低点）。これが何を意味しているのか、さらに検討を加える必要があるだろう。

表3 2015 年度前期 開講学科別実施科目数・評価点

	実施科目数		評価点	
	中間	期末	中間	期末
人間科学部	37	39	75.48	76.00
スポーツ健康	14	15	76.37	76.80
国際交流	12	15	76.09	75.64
心理臨床・子ども	11	9	73.96	75.55
医療学部	25	27	74.43	75.90
医療工	15	17	73.79	75.52
健康栄養	10	10	75.06	76.28
芸術学部	16	14	75.95	75.22
アート・デザイン	2	3	72.26	73.02
トータルビューティ	14	11	79.64	77.42
教職	1	1	76.61	76.04
共通	6	6	72.17	71.41
全体	85	87	74.58	74.09

表4 2015 年度後期 開講学科別実施科目数・評価点

	実施科目数		評価点	
	中間	期末	中間	期末
人間J 科学部	35	35	76.89	
スポーツ健康	13	13	72.64	
国際交流	8	9	79.38	
心理臨床・子ども	14	13	79.65	
医療学部	27	23	73.80	
医療工	14	12	74.77	
健康栄養	13	11	72.76	
芸術学部	16	17	78.15	
アート・デザイン	1	2	74.55	
トータルビューティ	15	15	78.39	
教職	1	1	75.91	
共通	7	5	72.33	
全体	86	81	73.97	

(3) 評価項目ごとの評価点 (全体)

表5 項目ごとの評価点 (2015年度)

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
前期中間	4.40	4.18	3.35	2.25	2.14	4.29	4.15	4.05	4.09	4.06	4.06
前期期末	4.21	4.09	3.39	2.41	2.18	4.23	4.08	3.98	4.05	4.06	4.08
後期中間	4.36	4.13	3.36	2.35	2.19	4.22	4.09	4.00	4.00	4.01	3.98
平均	4.32	4.13	3.37	2.34	2.17	4.25	4.11	4.01	4.05	4.04	4.04

表5は項目ごとの評価点をまとめたものである。全体の平均を見ると、最も低い評価点は、項目5(「1回の授業に関し、どの程度予習や復習に時間をかけましたか」)の評価点であり、4回のアンケートですべて最低値となっている。これは授業時間外の予習、復習がきわめて不十分であることを示しているが、項目3(「授業後のまとめや復習を十分に行いましたか」)の評価点(3.37)を考慮すると、授業時間以外の学習が不十分であることを学生もある程度自覚していることが窺える。項目5に次いで低い評価点を示したのは、項目4(「この授業の授業公開サーバを利用しましたか」)であり(2.34)、授業公開サーバが学生に十分に活用されていないことを示しているが、授業でのIT活用が重要度を増している現在、学習支援システムとしての授業公開サーバの利用を促進するためには、まず教員がその重要性を理解すると同時に、その積極的活用を学生に促していくことが必要であろう。項目4および5の2つの評価点だけが2点台であったが、これらに次いで低評価だったのは、項目3(「授業後のまとめや復習を十分に行いましたか」)であり、唯一3点台であった。この3つの評価項目を除いて、他はすべて4点台であった(全体の平均)。全項目中、項目1(「出席状況を自己評価して、「よい」と言えますか」)(3回すべてで最高点)と項目8(「教員は授業の準備を十分にしていたと思いますか」)が比較的高い評価点であった。以上の傾向は昨年度と変わりがない。したがって、今後は学生に授業への出席を促すばかりでなく、授業時間以外の学習をいかにして確保していくかが課題となる。

(参考)

アンケート用紙は以下のものを使用した。

学生による授業評価アンケート 振り返り項目						
<b>*このアンケート結果は「優秀授業賞」選者の参考にする場合があります。</b>						
<b>*注意：13までマークシートに記入してください。必ず鉛筆かシャープペンシルで記入のこと。</b>						
○学生に関する質問(あなたの受講態度について)		とても 思う	まあまあ そう思う	どちらとも いえない	余りそう 思わない	全くそう 思わない
1	この授業の出席状況を自己評価して、「よい」と言えますか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
3	授業後のまとめや復習を十分に行いましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
4	この授業の授業公開サーバを利用しましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
5	1回の授業に関し、予習や復習にどの程度時間をかけましたか (1. ゼロ 2. 30分程度 3. 1時間程度 4. 1時間30分程度 5. 2時間以上)	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
○授業に関する質問(授業方法や内容について)						
6	この授業内容のレベルはどうか(1. とても難しい 2. やや難しい 3. 適切 4. やや易しい 5. とても易しい)	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
7	この授業の進み方はどうか(1. とても速い 2. やや速い 3. 適切 4. やや遅い 5. とても遅い)	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
8	教員は授業の準備を十分にしていたと思いますか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
9	板書や配布物、提示資料は見やすかったですか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
10	学生が理解したかを確認しながら授業を行っていましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
11	教員の教え方はわかりやすかったですか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
12	考え方や、能力、知識、技術などの向上がありましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
13	この授業に全体として満足しましたか	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
自由記述						